

平成21年11月19日

文部科学大臣
川端達夫様

要 望 書

世界の脅威となっている感染症をターゲットとした研究を、我が国研究者が相手国研究者と連携しつつ実施できる機会を、貴省が推進している「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」により与えられ、学術的に顕著な成果を挙げていることに感謝しております。

今般、行政刷新会議事業仕分けにおいて、主として厚生労働省との関係が指摘され、廃止又は予算縮減という判定が下されたことに大変驚いております。

申し上げるまでもなく、海外拠点における活動は相手国政府や研究者との深い信頼関係の下、長期的に取り組むことにより始めて結実するものです。厚生労働省において、この種のプロジェクトが構想されていない現状においては、貴省のイニシアチブにより、第一期に引き続き、第二期を着実に実施していくことが、日本の安全にとって、そして我が国学術活動の発展にとって必要不可欠と考えております。

本学会といたしましては、所属する研究者の活躍の場としての研究環境の確保は不可欠であり、ここに、本学会員を代表して、このプログラムの継続、発展を心からお願い申し上げます。

日本ウイルス学会
理事長 野本 明男